

1 伊那市における「地域おこし協力隊」「集落支援員」制度の取り組みについて

伊那市では、協力隊と集落支援員が連携し、地域課題に応じた活動を自主的に展開していた。行政が現場の意見を尊重し、柔軟にサポートしている点が印象的であった。任期後の定住支援にも力を入れており、制度が人材育成と地域活性化の両面に効果を上げていると感じた。

2 起業したカフェの視察 リヤコーヒーにて

地域おこし協力隊や支援員の制度は、単なる人材配置ではなく、地域の関係性を再構築する仕組みであると感じた。現場の声を生かす柔軟な運用が重要であり、箕輪町でも地域住民の思いを起点にした支援体制づくりを進める必要があると感じた。

全体を通じて